

おぐろ



2009

12

NO.662

● 広報



～ いろんな落ち葉がいっぱい！～

暖かい日差しも手伝って、すみれ保育園の園児の皆さんが、役場に散歩に来ました。

黄色い葉っぱ、赤い葉っぱ、色んな葉っぱをたくさん集めていました。楽しそうな歓声のもと、身近な場所で、季節の移ろいを感じた一日でした。

新しい「過疎」の姿を探るシンポジウム —— 守り続けたい集落の魅力と底力 ——



新

新しい「過疎」の姿を探るシンポジウムが十一月八日・九日、旧小玉川小中学校で開催されました。このシンポジウムは、過疎地域に住む人々の生活や自然環境が、国土を守り人々を支え続けてきたということを再認識し、人口減少、少子高齢化など様々な課題の解決に向け、新たな過疎地域の振興の具体的な方策を考え、議論しよう、町が主催したものです。今月はそのなかから、集落支援の在り方について議論を深めたセッショントークの概要をお知らせします。

過疎地域の振興に極めて有利な支援制度である現在の過疎地域自立促進特別措置法は、平成二十二年三月に失効となります。町では、過疎対策の柱であると見込まれる集落支援の在り方、過疎地域の多面的な価値を守り、その持ち味を発揮させる仕組みなどを議論し、広く情報を発信していくために、このシンポジウムを開催しました。

今、過疎地域をめぐる状況は、人口減少、少子高齢化の進行をはじめとした様々な課題が山積し、極めて深刻な局面を迎えています。これまで日本の国土を守り、人々の生存を支え続けてきた過疎地域の価値が見失われてしまえば、それは過疎地域だけでなく日

本全体の危機を招くこととなります。

シンポジウムでは、作家C・W・ニコル氏の基調講演をはじめ、二つのセッショントーク「集落支援の可能性」「地域資源の活用による地域活動の展開と集落の活性化」を行い、議論を深めたほか、現地視察に基づく地域活性化方策への提案と題してワークショップも展開しました。

今月、集落が有する機能を維持していくための新たな集落支援の在り方について、町の総合計画策定に指導をいただいている法政大学現代福祉学部教授岡崎昌之氏をコーディネーターに迎え、議論を深めたセッショントークの概要をご紹介します。



セッション 「地域資源の活用による地域活動の展開と集落活性化」
長野県天龍村、岩手県洋野町、地元の小玉川の事例提供を踏まえ、議論を深めた。



基調講演
「自然の多様性は未来の可能性」
講師 作家C.W.ニコル氏



セッション 「集落支援の可能性」
山梨県早川町、和歌山県高野町の事例提供を踏まえ、議論を深めた。



食文化の祭典コーナー
町内の主婦・団体から37品目の郷土料理が出品された。



ワークショップ 「現地視察に基づく地域活動の展開と集落活性化」
地域環境デザイン研究所所長宮原博通氏を迎えて開催した。



ワークショップ
「森林セラピー基地の現地視察」
森林セラピーアテンダントを迎えて実施した。



法政大学現代福祉学部
人間社会研究科教授
岡崎昌之氏

セッションI 「集落支援の可能性」
岡崎
歴史的にも数百年に渡って存在していた日本の集落が、おそらく高度成長期以降の社会構造の大きな変化のなかで消滅しようとしています。集落支援、集落存続は、現在の世の中に居合わせた私どもがきちんと受け止めて、解決策や知恵を出していかなくてはいけないということが、大前提のテーマ設定です。
最初に、過疎地における集落の存在意義について、集落

にはこういう価値がある、こういうことを共有すれば維持できるのではないかということをお話し下さい。

鞍打
私が暮らしている早川町は、人口千四百人弱、高齢化率は四七%という過疎高齢化の厳しい地域です。山村には、空気が水、食料を生んだりする公益的機能と、それにまつわる生活文化が息づいており、これは山村の守るべき資源だと思います。

現在、問題になってきている点としては獣害が挙げられます。イノシシやシカ、サルが畑を荒らし、耕作意欲が減退し畑をやめて耕作放棄地が増えるという悪循環がうまれてきています。かつては、人が畑を耕し山に入ることによって人間の生活領域の境界を守ってきましたが、それが崩れてきています。集落が消滅し、人が住まなくなると、さらに獣害が拡大し、農業コストの増加や食料自給率の低下など、色んな問題が出てくる

と思います。このようなことから、山の暮らしを守っていくことは大事なことでと考えています。ただしそれを、ここで暮らすことの意義として感じていけるかどうか、住民の心に響く答えが見つかっていないのが現状です。

高橋

高野町の政策では、町を三十年、五十年前、元に戻そうという進め方で取り組んでいます。中心市街地は、修行的場所ですから、田や畑、農地が一筆もないのです。食料、薪炭は、全て周辺集落が支え



事例提供者
鞍打大輔氏
NPO法人日本上流文化圏研究所
主任研究員（山梨県早川町）

てきたのです。周辺集落には、たくさんの知恵が残っています。V字谷の川筋で米を作っている集落では、かつて日あたりを確保するために六間から二十間の区域に高い木は植えないなどの地域ルールがあり、今でも受け継がれています。また、高齢化率七五%の集落では、仏さまの前に進げる高野槇を出荷することで年金プラス五十から八十万円の収入を得ています。

中心部のためにも、周辺部はなくしてならないものだと思います。

岡崎

明確にこういう存在意義がある、ということはないが、なか言えない部分もありますが、住民にどのような認識してもらおうかということをクリアしていけば、もう少し明確になってくるのではないのでしょうか。

次のテーマとして、集落支援の方策についてご発言ください。

事例提供者

高橋寛治氏

和歌山県高野町副町長
(和歌山県高野町)



鞍打

今年一年間かけて、全三十

七集落の共同作業等について、ヒアリング調査をしているところです。お互いに集落の状況を知るために、地区ごとに集まり、調査結果の情報交換をしています。それと同時に、ボランティアも導入しています。獣害対策用の電気柵のメンテナンスや草刈りを、年三、四回してもらっています。

空き家の問題も深刻化しており、移住者の受け入れを行っています。基本的には定住し、集落の行事や共同作業に参加してもらうことが、受け

入れの条件です。最近、メデアで田舎暮らしが取り上げられているので、問合せが多いのですが、実際に移住したのは、ここ三年間で六家族です。ただ数は少ないのですが、意欲の高い人が多く、地域の役に立ってくれています。

高橋

集落の支援は、近代の農村がどのようにできてきたか、ということを踏まえて、総合政策を講じる必要があると思います。

全国から公募した集落支援員は、百六十二名の応募があり、現在五名（東京都から二名、新潟県から一名、長野県から一名、鹿児島県から一名）が集落に入っています。月額十五万円の委託料、勤務時間が百時間で三年間の勤務が条件です。住民の声を聞いて、それを組織化する能力のある人を選びました。山の中心の集落だけでなく、中心市街地でも一歩活性化している集落にも入れています。集落が、自治を考え、どうしたら自立

できるかを三年間で一緒に引き出していきたいと思つています。集落支援員というのは、圧倒的に価値のある作業だと感じています。

岡崎

従来からそこに住んでいる人だけで、これを担っていくことができれば一番いいのですが、UターンやIターンというようなことが起き始めている現代のなかで、それをうまく受け入れていくという素地を集落に備えておくことが必要になってくると思います。また、外から入ってくる人たちに、どのような素養を備えた人が望ましいのか、お話し下さい。

鞍打

自分が早川町に住むことができたのは、上流文化圏研究所という働く場があったことが、非常に大きいと思います。若者のなかには、チャンスがあれば田舎に行きたいと思つている人はいっぱいいると思います。その人たちを受け入



基調講演・セッションには、約150人が参加

られる下地を作っておくことは大事なことでと思います。そういう下地の有無によって入れる地域、入れない地域と明確に差が出てくるのではないかと感じています。

入ってくる人の素養として、まず求められるのは、住民の気持ちに寄り添うことだと思います。集落支援員が全部背負うのではなくて、住民のやる気を引き出し、それを形にしていく能力であったり、人と人をつなげていく能力が重要だと感じています。

高橋

現実的に集落支援員は、公

の概念を分かる人がいる集落に配置しています。

集落支援員に求められるのは、地域の課題を地域のなかから掘り出して、それを住民自らが知恵と労力とお金で解決することを支援することです。

岡崎

日本と同じような国民所得レベルの西ヨーロッパ諸国、例えばスイスでは、山岳地域で人口が増えつつあり、チューリヒやジュネーブといった大都市では人口が減少してきています。これはドイツ、スペインをみても同じようなことが起きています。価値観の変化と同時に、政策的な支援もあり、若い人達が農山村に移住していくことが大きな運動として起きつつあります。

数百年単位で、宗教的、文化的、言語的にもほぼ同一の人たちが、ずっと永住してきた日本の集落というものは、世界的にも貴重なものです。この集落の消滅は、何とか避けたいですし、何

かの形で乗り切れば、新しい集落の意味というものが日本人のなかにも認識されると強く感じています。

これからの 集落支援

今回紹介したセッションでは、山村には古くから伝わる生活文化が人々の生活に重要な役割を果たしてきたことを再認識し、集落の支援には、外の人々との「協働・交流・連携」と、支援する側、支援される側双方に備えるべき下地が必要であることを確認できました。

小国町では、昨年度策定した第四次小国町総合計画基本構想において、町を取り巻く環境の変化に対応して、町を構成する集落が有する機能を維持していくための地域づくりをまちづくりの施策の基盤として、集落支援員をモデル的に配置しながら、望ましい地域づくりの進め方を研究していくこととしていきます。

文化の日

表彰式

平成二十一年度文化の日表彰式が、十一月三日、総合センターで行われました。町づくりの功績のあった十個人に賞状と記念品が贈呈されました。各受賞者は、次のとおりです。

功労表彰

渡部 鍊太郎氏(東原)

昭和三十三年度から平成十六年度までの四十七年間は、消防団員及び副団長、また平成十七年度から平成二十年度までの四年間は消防団長を務められ、豊富な識見と卓越した指導力をもつて



消防団の充実強化、火災の予防、災害防止などの地域防災活動に尽力され町民の安全と安心の確保に大きく貢献されました。

馬場 高子氏

(小国小坂町)



三十八年の永きにわたり県立高等学校の体育教諭として勤務され、内二十八年間は小国高等学校に在籍し、また平成十四年度からは、町スポーツ少年団本部長をはじめとして、本町生涯学習の指導者としてスポーツの振興や青少年の健全育成に大きく貢献されました。

感謝状

渡辺 大五郎氏

(元東関親方)

東京都墨田区

平成十六年から五年にわ



たり、当町で東関部屋夏合宿を主宰し、福祉施設等への訪問や様々なイベントに積極的に参加するなどして、多くの町民と交流を重ねられ、町に勇気と元気を与えていただきました。

永年勤続表彰

■ 駐在員 (十年以上)

舟山 昭夫氏 (小玉川)

遠藤善四郎氏 (沼沢)

高橋 俊雄氏 (伊佐領)

■ 農業振興組会長 (十年以上)

遠藤 恭一氏 (大宮)

今 秀夫氏 (尻無沢)

佐藤 暢芳氏 (小国小坂町)

佐藤 洋一氏 (入折戸)

■ 民生児童委員 (十二年以上)

和田 堅吉氏 (新屋敷)

作品や芸能を披露

小国町文化祭

小国町文化祭が、十一月一日から三日、町民体育館等で行われました。

展示した作品は、小学生以上のかたから募集し、書道や生け花、陶芸など約五百点の作品が展示されました。

また、町内の愛好団体による芸能発表(芸能まつり、民謡まつり)や、町出身落語家山遊亭金太郎氏の寄席も行われ、熱演にたくさんの方々が拍手が送られていました。





山形県林業賞を受賞
舟山 勇さん（若山）

山形県林業士の舟山勇さん（若山）が、川村造林記念山形県林業賞を受賞されました。舟山さんは、昭和三十四年から林業や種苗生産に従事され、林業技術の向上と、クリやワラビ、ゼンマイなど特用林産物の生産技術を普及し、産地形成に貢献されました。また、クリ園に子ども達を招いた収穫体験や森林とのふれあい体験など、森林教育の推進にも貢献されました。



瑞宝単光章を受章
渡邊 助雄さん（百子沢）

平成二十一年秋の叙勲で、元小国町消防団分団長の渡邊助雄さん（百子沢）が、瑞宝単光章を受章されました。渡邊さんは、昭和三十四年から平成十年までの永きにわたり町消防団員として、地域住民の火災予防意識の高揚と啓発を図り、地域ぐるみの防災体制づくりに尽力されました。「この度の受章は、支えてくれた家族や地域のみなさんのおかげです。みなさんに感謝したい」と話してくれました。



**ハイコー株式会社
町に防犯灯を寄贈**
ハイコー株式会社による防犯灯の寄贈が、十月二十八日、役場で行われました。寄贈に訪れた穴沢洋一代表取締役は、「LED式の防犯灯を五基寄贈します。明るく町づくりにお役立てください。」と話されました。今回寄贈された防犯灯は、防犯協会各支部を通して、町内各所に設置されることとなります。



総合センター1階に設置された「警察ふれあいポスト」

**あなたの一言で
安心・安全な
まちづくり**

警察ふれあいポストの設置が、十一月十一日、総合センターで行われました。これは、県警が住民から幅広く意見・要望を聞き、安全・安心な町づくりに役立てる取り組みで、町内では総合センター1階に設置されています。小国警察署榎地域交通課長は、「警察へのご意見ご要望や、身近な困りごとなどを投函してください。総合センターと連携して、地域の安心・安全に役立てたい」と話してくれました。

11/14

新潟山形、両県から選手が集結

～白い森杯柔道大会2009～



中学生が気迫あふれる試合を展開

白い森杯柔道大会 2009 が、11月14日、町民体育館で開催されました。

町柔道会を中心とした実行委員会（多勢信人会長）が主催した本大会には、新潟山形、両県の中学校やスポーツ少年団（約50団体）が参加しました。男女別の団体戦、男女混合の県選抜対抗戦が行われ、選手の繰り出す豪快な投げ技に多くの拍手と歓声が上がっていました。

また、会場前で開催された、町認定農業者協議会による「ぶなの恵み大感謝祭」では、地元の食材を使った芋煮やたかきびハンバーグが販売され、地元農産物のPRが行われていました。

11/22

十三峠の活用策を探る

～越後米沢街道十三峠活用シンポジウム～

越後米沢街道・十三峠交流会（井上俊雄会長）が主催するシンポジウムが、11月22日、松風館で開催され、約80人が参加しました。

山形県置賜地域と新潟県下越地域を結ぶ重要な街道であった「越後米沢街道・十三峠」の活用策について、写真家鈴木一雄氏の基調講演と、パネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、峠の魅力や活用策について活発に意見が出されていました。



十三峠の活用や周辺地域の魅力について意見発表されたパネルディスカッション

11/23

自慢の鍋に舌鼓

～第7回おぐに鍋まつり～



たくさんの来場者に各テントは大忙し

第7回おぐに鍋まつりが、11月23日、ふれあいの家周辺で開催され、多くの町民で賑わいました。

今回は、町内外から、13チームが出店。地元の食材を使った自慢の鍋が並び、テントの前には行列ができていました。

来場者の投票により決定した今年の鍋将軍は、地鶏だんご・里芋だんご・そばだんごなど、山の恵みをふんだんに使ったあざみ山遊会の「山の恵みのだんご鍋」が選ばれました。

11/1

長年の願い… 新沖庭橋が開通



関係者によるテープカット

県道五味沢小国線の架け替え工事が終了し、開通式が、11月1日、多くの地域住民、行政関係者の出席のもと、舟渡地内で行われました。

旧沖庭橋は、昭和33年の完成以来50年余りの年月を経過。老朽化が進んでおり、道路幅が狭く大型車がすれ違えないことに加え、児童の通学路にもなっていることから、架け替えは、長年の願いでした。

新しい橋は、全長132.5mで、車道幅は6m、歩道幅は2m。

テープカット後に行われた渡り初めでは、地元舟渡地域の伝統芸能「舟渡獅子踊り」が披露され開通を祝いました。



新沖庭橋には歩道も整備



渡り初めで披露された町指定文化財「舟渡獅子踊り」

この人に聞く

沖庭橋架替事業
促進期成同盟会

会長 佐藤 精さん



会長の佐藤精さん(舟渡)は、「沖庭橋架替事業促進期成同盟会は、昭和五十七年に舟渡以北の地域住民が中心となり結成し、関係機関への要望活動を展開するとともに、会報誌を発行し、地域の皆様のご理解をいただきながら、活動を重ねてきました。以来、さまざまな困難な状況がありました。平成十七年十二月二十八日に本体工事が始まり、この度ようやく橋が完成、開通しました。

新沖庭橋は、道路幅が広がり歩道も整備され、今後の定住・交流社会の形成や、安全で円滑な通行に寄与するものと思います。ご協力いただいた皆さんに感謝したい」と話してくれました。

職員の給与は、国や県に準拠し、町議会の審議を経て条例等で定められています。町では毎年、職員給与や人事行政の運営状況の概要を町民の皆さんにお知らせしております。

小国町では厳しい財政事情を踏まえ、町長・副町長・教育長の給与を減額、職員数については、目標を設定し、定員の適正化を図っています。なお、町ホームページでも詳細を公表しています。

職員手当の状況（一般職）

（平成21年4月1日現在）

扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者 13,000円/月 扶養親族1人につき6,500円（配偶者がいない場合11,000円） （満16歳～22歳までの子につき5,000円加算） 									
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> 借家 月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、 27,000円/月を限度に家賃に応じて支給。 持家 3,000円/月 									
通勤手当	通勤距離2km以上を対象に支給。 <ul style="list-style-type: none"> 交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額 55,000円/月 自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円/月 									
期末勤勉手当 （支給割合）	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給。 <table border="0"> <tr> <td></td> <td>期末手当</td> <td>勤勉手当</td> </tr> <tr> <td>● 6月期</td> <td>1.4月分</td> <td>0.75月分</td> </tr> <tr> <td>● 12月期</td> <td>1.6月分</td> <td>0.75月分</td> </tr> </table> ※3級以上の職員に対し、職務の級に応じて5%～15%の加算措置有り		期末手当	勤勉手当	● 6月期	1.4月分	0.75月分	● 12月期	1.6月分	0.75月分
	期末手当	勤勉手当								
● 6月期	1.4月分	0.75月分								
● 12月期	1.6月分	0.75月分								



（各年度一般会計決算）

時間外 勤務手当	区分	支給総額	1人当たり平均支給額
	19年度決算額	23,015千円	204千円
	20年度決算額	22,489千円	196千円

（平成21年4月1日現在）

退職手当	自己都合	勤奨・定年	
	勤続20年	23.50月	30.55月
	勤続25年	33.50月	41.34月
	勤続35年	47.50月	59.28月
	最高限度額	59.28月	59.28月

※定年前早期退職者に対して2%～20%の加算措置有り



特別職の報酬の状況

（平成21年4月1日現在）

区分	月額	減額後	期末手当(支給割合)	
給料	町長	810,000	688,500	6月期 1.6月分 12月期 1.7月分 合計 3.3月分
	副町長	630,000	567,000	
	教育長	560,000	532,000	
報酬	議長	310,000	—	6月期 1.6月分 12月期 1.7月分 合計 3.3月分
	副議長	250,000	—	
	議員	235,000	—	

※平成21年度において、町長15%、副町長10%、教育長5%をそれぞれ減額しています。
特別職の期末手当は、減額後の給料月額に35%を加算し支給割合を乗じます。

勤務時間（標準的なもの）

（平成21年4月1日現在）

1週間の 勤務時間	勤務時間の割り振り				週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	休息時間	
40時間	8:30	17:15	12:15～13:00	12:00～12:15 17:00～17:15	土曜日・日曜日

休暇制度の概要

- 有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏期休暇、社会奉仕活動など）
無給 介護休暇・組合休暇

問合せ先 総務企画課へ

町職員の給与・人事行政の内容をお知

採用の状況

(平成21年4月1日)

	男	女	合計
一般行政職	1人	1人	2人
薬剤師	1人	0人	1人
看護師	0人	2人	2人
医師	1人	0人	1人
合計	3人	3人	6人

退職の状況

(平成20年4月1日から平成21年3月31日)

	男	女	合計
定年退職	0人	2人	2人
勸奨退職	1人	1人	2人
普通退職	6人	1人	7人
合計	7人	4人	11人

職員数の状況

(各年度4月1日現在)

職種別	一般行政職	税務職	医師職	医療療養職	看護・保健職	福祉職(保育・介護)	企業職(水道)	技能労務職	その他職	合計
20年度	93人	12人	5人	10人	44人	11人	3人	8人	1人	187人
21年度	94人	11人	3人	11人	43人	9人	2人	8人	1人	182人
増減	+1人	△1人	△2人	+1人	△1人	△2人	△1人	0人	0人	△5人

一般行政職の級別職員数の状況

(平成21年4月1日現在)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
標準的な職務	主事・主事補	主任	主査・係長	室長・補佐	課長・主幹	課長
職員数	20人	25人	27人	12人	6人	4人
構成比	21.3%	26.6%	28.7%	12.8%	6.4%	4.2%

人件費の状況

(平成20年度一般会計決算)

住民基本台帳人口 (平成21年3月末)	歳出総額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	H19年度人件費率
9,252人	5,380,502千円	865,374千円	16.1%	17.2%

※人件費には、特別職給与・共済組合負担金などを含まず。

職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区分	職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計(B)	
20年度	113人	405,300千円	60,187千円	163,453千円	628,940千円	5,566千円
21年度	111人	401,384千円	57,589千円	162,080千円	621,053千円	5,595千円

※特別職給与、企業会計分は除きます。また職員手当には退職手当を含みません。

平均給料月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区分	平成20年度			平成21年度		
	平均年齢	平均経験年数	平均給料月額	平均年齢	平均経験年数	平均給料月額
一般行政職	41.0歳	19.6年	298,200円	41.5歳	20.3年	298,200円
技能労務職	49.9歳	31.7年	286,400円	50.9歳	32.7年	289,100円

初任給の状況

(平成21年4月1日現在)

		小国町	国
一般行政職	大学卒	161,600円	172,200円
	高校卒	140,100円	140,100円
技能労務職	高校卒	125,400円	137,200円

※小国町では大学卒の初任給は、初級試験採用の適用となります。

ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

年度	18年度	19年度	20年度
小国町	91.4	90.4	90.5
県内町村平均	93.8	94.4	95.3
全国町村平均	93.5	93.9	94.2

※ラスパイレス指数は国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。

募集

町宮住宅入居者募集

- あけぼの団地
2DK 1戸
- ▼ 対象 所得制限がありますので、お問合せください。
- ▼ 家賃 所得と家族構成により決定します。
- 小坂町勤労者住宅
2K 3戸
家賃 三万三千元
- 岩井沢勤労者住宅
3DK 2戸
家賃 四万二千元
- ▼ 対象 小坂町・岩井沢ともに、町内の事業所にお勤めのかた
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期限 12月9日(水)
- 入居時期 12月下旬以降
- 問合せ先 地域整備課 建設管理室へ

放送大学4月入学生募集

放送大学は、テレビやラジオを利用して授業を行う通信制大学です。1科目からでも学べます。

■ 募集学生 全科履修生(大学卒業を目指す編入学可 18

歳以上)・選科履修生(1年間在学 15歳以上)・科目履修生(6カ月間在学 15歳以上)

- 募集期限
平成22年2月28日(日)まで
- 大学説明会 12月5日(土)
午後1時30分から 米沢市すこやかセンター
- 問合せ先 放送大学山形学習センター (TEL 023164618836)へ

催し

ラブラブ

イルミネーション

独身男女の出会いの場をご提供します。皆様が楽しめるような企画を準備しておりますので、ぜひご参加ください。

- 日時 12月19日(土)
午後3時30分から8時
- 場所 日常茶飯美
- 参加費 男性 四千元
女性 三千元
- 問合せ先 おも白い森代表
本間義人(越後屋 TEL 6412430)へ

つる細工講習会

- 日時
1月20日(水)～22日(金)

ご案内

消防設備士

甲種・乙種試験

- 試験日
平成22年2月7日(日)
- 試験地 山形市
- 願書受付期間 12月14日(月)～24日(木)
- 願書提出先 財団法人消防試験研究センター山形県支部(山形市あこや町3-15-40) ※願書は、消防署各消防分署にあります。
- 問合せ先 消防小国分署 (TEL 6212154)へ

地上デジタル放送受信のための支援を行います

総務省では、経済的な理由などで地上アナログ放送から地上デジタル放送に移行することが難しい世帯に対する支援を行っています。

■ 支援対象

① 生活保護などの公的扶助を受けている世帯

② 「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神保健福祉手帳」をお持ちのかたが世帯構成員で、世帯全員が町民税非課税の世帯(NHKと受信契約を結び、全額免除の適用を受けることが必要です)

③ 社会福祉事業施設に入所されているかた

■ 支援内容

① 簡易チューナーの無償給付

② アンテナ工事が必要な場合、無償による工事等の実施

■ 申込方法

既定の申込用紙に必要事項を記入し、総務省地デジチューナー支援実施センターに送付してください。(申込用紙は、健康管理センターにあります)

■ 問合せ先 健康福祉課へ

健康福祉課へ

子育て支援 センターから

★あそびの広場★

- 日程 12月1日、8日「子育て講座・餃子作り」、15日、22日
- 時間 午前10時～11時30分
- 場所 健康管理センター
- 対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

★なかよし広場★

- 日程と場所 12月3日、17日

総合センター
12月10日、1月2日
おぐくに保育園

- 時間 午前10時～11時30分
- 対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

★こども愛ランド★

- 日時 1月16日(土) 午前9時～午後2時30分
- 場所 健康管理センター
- 内容 ゆべし作り・バルーンアート
- 申込期限 1月14日(木)

問合せ先
子育て支援センターへ

総合センター図書室から

●新着図書

かあちゃん 重松 清
神様のカルテ 夏川 草介
決定版重曹大事典 佐光 紀子
戦国武将お墓参り手帖

武家カルチャー研究所

しぜんタッチ!全10巻

須田孫七・他
竜の道 白川 道
プリンセス・トヨトミ 万城目 学
同期 今野 敏
新参者 東野 圭吾
フリーター、家を買う。 有川 浩

●休館日...毎週月曜日、祝日

事業所名	職種	求人数	勤務時間
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(有)蔵王ストア	レジ係	1人	8:45～18:00
(株)ケイプロダクツ	営業	1人	9:00～18:00
大和建設運輸(株)	土木施行管理技士	2人	8:00～17:00
斉藤建設(株)	土木施工管理技師	1人	8:00～17:00
安部工業(株)	型枠大工・一般作業員	4人	8:00～17:00
小国町役場	居宅介護支援専門員	1人	8:30～17:00
特別養護老人ホーム さいわい荘	介護員	1人	9:15～18:15ほか
第一ホール小国店/旬コソカンパニー	ホールスタッフ	2人	8:30～17:30ほか
小国運輸機工	軽トラック冷凍車による食材宅配	1人	8:30～17:30
(株)井上製作所	製造工[急募]	2人	8:30～17:00
(有)白い森よこね物産品直売所	販売・レジ等	3人	9:00～18:00間5時間程度

求人情報

左の表は、11月20日現在の求人内容です。無効になっていない場合もありますのでご了承ください。
※詳しいことは、ハローワーク長井(電話84-8609)へ

今月の納税 2009.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 12月25日(金) 固定資産税(4期)、国民健康保険税(6期)、後期高齢者医療保険料(6期)、介護保険料
- 12月28日(月) 水道料
- 1月4日(月) 水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料
- 問合せ 税務出納課 税政管理室へ

総合センター臨時休館のお知らせ

総合センター電気設備修繕工事のため、12月19日(土)・20日(日)の両日、休館とさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくご理解賜りますようお願いいたします。

■問合せ 総合センターへ

置賜広域行政事務組合 指名競争入札参加登録申請 の受付について

平成22年度に行う①建設工事、②設計・測量コンサルタント(追加申請のみ)、③物品納入及び役務提供(追加申請のみ)の登録申請を受け付けます。

受付期間

①建設工事、②設計・測量コンサルタント
平成22年2月1日(月)～2月19日(金)

③物品納入及び役務提供
平成22年1月15日(金)～2月5日(金)

※郵送の場合、当日消印有効

申請・問合せ先

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番55号
置賜広域行政事務組合総務課庶務係
TEL 0238(23)3246

※申請に必要な書類等、詳細は、本組合のホームページ(<http://www.okikou.or.jp/>)をご覧ください。

いきいき
半日ドック

乳がん・子宮がん 検診のお知らせ

町立病院では、本年5月より、特定健康診査を兼ねた検査項目でメタボリックシンドロームの予防・解消と、骨密度検査や各種ガン検査も取り入れた標準的な健康診断「いきいき半日ドック」を実施しています。

「いきいき半日ドック」にあわせて、同日に乳がん・子宮がん検診も受診することができます。

実施日 乳がん検診……毎週月曜日
子宮がん検診……毎週金曜日

申込方法 電話または病院窓口で、実施予定日の10日前までお申し込みください。

その他 乳がん・子宮がん検診の単独受診もできます。料金は、お問合せください。

問合せ先 町立病院へ

相談

年金相談

日時 12月16日(水)
受付 10:30～14:30
場所 役場町民相談室
対応者 社会保険事務所職員
問合せ先 町民課住民窓口担当へ

消費者相談会

悪質商法による被害や商品事故の苦情、金銭トラブル等の悩みを抱えているかたの相談会を実施します。

日時 12月26日(土)
10:00～15:00

●相談時間は一人30分～1時間
場所 役場町民相談室
対応者 司法書士 舟山健蔵氏
相談料 無料
申込み 事前に申込みが必要です。
申込・問合せ先 町民課町民生活担当へ

山大医学部付属病院 がん患者相談室

がんに関する治療や検査、療養上の悩み、医療費などについて、患者さんやご家族の不安や心配ごとに専任相談員の看護師が対応いたします。

日時 平日 8:30～17:00
場所 山大医学部付属病院
がん患者相談室

相談方法

対面または電話で相談を受け付けます。相談に関する費用は無料です。

問合せ先 山大医学部付属病院
(023-628-5159)へ

多重債務無料相談会

相談日 12月17日(木)
場所 山形財務事務所
申込み

事前予約が必要です。12月10日(木)まで、お電話でお申し込みください。

問合せ先 山形財務事務所理財課
(023-641-5178)へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) ☎62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室 ☎62-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●出納室 ☎62-2406
- 農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●建設管理室・上下水道室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

年末年始、次のことにご協力をお願いします。

内容 期日	水道故障	町立病院	ごみ収集	小国リレー センター	総合センター 町民体育館 ふれあいの家 (毎週月曜休館)	温水プール (毎週月曜休館)
29日(火)	通常どおり	休診	休み	通常どおり	休み	通常どおり
30日(水)	津島屋電機店 tel.62-2404	休診	休み	休み	休み	通常どおり
31日(木)	小関住宅設備 tel.62-5347	休診	休み	休み	休み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
1月1日(金)	パイプライン tel.62-2461	休診	休み	休み	休み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
2日(土)	清水設備 tel.67-2127	休診	休み	休み	休み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
3日(日)	設備佐藤 tel.62-5606	休診	休み	休み	休み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
問合せ先	地域整備課	町立病院	町民課	小国リレー センター tel.63-2251	総合センター 町民体育館	ゆ～ゆ tel.62-4248

平成22年度 保育園、中央児童室などの入所申込を受付けます

受付期間 平成21年12月16日(水)から18日(金)まで

受付時間 午前8時30分から午後7時まで

受付場所 健康管理センター

- 対象者**
- おぐに保育園、白百合保育園、すみれ保育園、おきにわ保育園は、家庭で保育することができない乳幼児。
 - あさひ保育園、叶水保育園は、家庭で保育することができない、おおむね2歳以上の幼児。
 - 中央児童室は、放課後家庭で養育することができない、小学1年生から3年生までの児童。(本年度、入所しているかたも新たに申込みが必要です)

申込方法 申込書は健康管理センターまたは保育所等に準備してありますので、必要事項を記入のうえ受付期間内に提出してください。

- その他**
- 定員を超えた場合は、希望の施設に入所できない場合があります。
 - 入所期間は、小学校に入学するまでの範囲で希望することができます。

【保育所一覧】の閲覧

保育所の情報として、健康管理センターに「保育所一覧」を備えてあります。施設の状況、保育内容の詳細、町の保育事業などが記載されていますので、資料として活用してください。(閲覧は閉庁日を除く午前8時30分から午後5時15分)

問合せ先 健康福祉課へ

介護予防♥一口メモ

うつ病の予防と
対応について

「うつ」とは、脳内の神経機能に変調がおきて気分がひどく落ち込む、何事にも興味を持てなくなる、おっくう、疲れやすい、だるいなどの症状がほとんど毎日続き、強い苦痛を感じて日常生活に支障が現れるまでになった状態です。食欲低下、不眠、不安、焦り、思考力や集中力の低下などがみられます。つらくて死にたいという気分になることもあります。

誰でもかかる可能性がある身近な病気ですが、やる気の問題や気の持ちようでは回復しません。うつが疑われる時は精神科や心療内科などの専門医に相談をしてみるとよいでしょう。周囲の理解もとても大切です。無理に励まさない。話をゆっくり聴き、つらい気持ちを受け止める関わりが大切です。

高齢期のうつ予防には、社会的に孤立しない・気分転換をする・生活のリズムを大事にする・役割を持ち続けるなどが大切といわれています。

お詫びと訂正

前号の低栄養の予防で血清アルブミン値の間違ひがあり、おわびして訂正いたします。

- 誤 ▶ 3.5 g/dl 以下
- 正 ▶ 3.8 g/dl 以下 です。

お問い合わせ 地域包括支援センター 61-1001

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

小国町	高橋	いぶ	武	（慎子）
あけぼの	加藤	るいと	瑠衣斗	（豪美）
小国町	駒沢	こうめい	昊明	（亮子）
兵庫館	安部	ひさと	寿人	（幸弘）
緑町	西原	ちほ	千穂	（政子）
岩井沢	渡辺	さな	紗菜	（大智）
岩井沢	小田	まい	真愛	（修央）
五味沢	佐藤	るい	琉生	（裕也）

結婚おめでとございます。

（兵庫館	貞末	晋作
（舟渡	川上	亜紀
（関川村	平田	武史
（小国小坂町	今	友美
（兵庫館	國分	秀晃
（神奈川県	榊	美砂子

おくやみ申し上げます。

岩井沢	二馬	アヤ	(82)
越中里	原田	政子	(85)
玉川	伊藤	金太郎	(90)
あけぼの	伊藤	はぎい	(88)
伊佐領	山口	てつみ	(90)
栄町	伊藤	ひさ	(88)

人口のうごき

人口	男	4,499人(+6)
	女	4,737人(-3)
	計	9,236人(+3)
世帯数		3,263世帯(+3)

平成21年10月31日現在

編集後記

十三峠シンボ
ジュームでの基
調講演。写真家
の鈴木一雄氏は、
朴ノ木峠や黒沢峠、
萱野峠などの風
景写真を紹介し
ていました。自分たち
の地域の魅力を高める
には、まず自分たちの
地域を知らなければ…。
会場に映しだされる美
しい写真の数々を目に
焼きつけながら、自分
も風景写真に挑戦して
みようと思えました。
(加藤)